



ふじみ

5月号

合言葉は
笑顔・自分・元気

校長 菅野 朝子

■全国学力・学習状況調査

6年生対象の全国学力・学習状況調査を実施しました。4月18日には、国語と算数の記述式の調査、4月24日には、タブレットを活用した児童質問調査を実施しました。タブレットでの調査は本校では初めてです。心配していた不具合もなく、無事実施することができました。結果の詳細は後日お知らせしますが、内容の一部を紹介します。



①国語の問題例

「書くこと」の問題では、問題文に登場する人物の立場で、短文のカードやグラフをもとに、「考え」を伝える文章（60～100字）の記述が求められました。

まずは出題の要求する「問題点」と「解決方法」を条件に沿って書くこと、そしてグラフ等を用いて考えを表現する工夫をする人物になりきって、解答することが求められています。問題をもとに、どのような力が求められているか、ご家庭でも分析したり話し合ったりしてみてください。

②児童質問調査の中で、本校の児童の顕著なところを一部抜粋

◎朝食を毎日食べている・・・(している) (どちらかといえばしている) の合計が 96.8%でした。朝食をとると、勉強に集中できます。引き続きよろしく願いいたします。

◎将来の夢や目標を持っている・・・(当てはまる) (どちらかといえば当てはまる) の合計が 90.3%でした。夢や目標を持つことは、勉強へのやる気を引き出します。

◎いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う・・・(当てはまる) (どちらかといえ当てはまる) の合計が 98.9%でした。100%を目指して、いじめは絶対にあってはならないことを引き続き指導してまいります。

▽授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表しましたか・・・(当てはまる) (どちらかといえば当てはまる) の合計が 63.5%でした。自分から進んで考えを発表することが苦手な児童が見られます。

▽国語の勉強は好きだ・・・(当てはまる) (どちらかといえば当てはまる) の合計が 47.3%でした。ただ、国語の勉強は大切だと回答している児童は、96.7%でした。大切だと思っている子供たちを好きにさせるよう授業の工夫をしていきます。

国語の問題例からは、自分の考えを進んで発表をする力が必要であることがわかります。児童質問調査からは、それらが苦手である児童がいることがわかります。今年度の合言葉の一つである、「自分」～自分の考えを進んで発信する～を目指し、一人一人が、自分の考えや意見を、積極的に発信できるような場面を全学年で設定して、取り組んでいきたいと思っております。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

※令和5年度全国学力・学習状況調査で検索すると、調査問題、正答例、解説資料を見ることができます。

新型コロナウイルス感染症に係る健康観察票について

毎朝提出していただいている健康観察票ですが、5月8日以降新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類」に移行することを受け、**5月より廃止することといたしました**。しかし引き続き感染対策を行う必要があります。手洗い、うがいの励行をご家庭でも心がけてください。また、発熱、のどの痛み等の症状が見られましたら、医療機関の受診、登校の見合わせをするなど、ご協力をよろしくお願いいたします。

※5月13日(土)には、学校公開、学校経営説明会、引き渡し訓練があります。どうぞよろしくお願いいたします。